



ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>
〒085-0008 釧路市入江町9番14号
tel0154(23)3001 fax0154(64)6611

facebook随時更新しております
2015年10月15日(第8号)



ふたば診療所の診療



暑い夏とほとんど台風のような爆弾低気圧。
釧路の気候もすっかり変わってしまったようです。
どんな天気でもふたば診療所はいつもと同じように訪問しています。

10月11、12日は在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク/
全国の集いに参加しました。

思い返すと私が訪問診療を始めた頃の釧路では在宅療養を支える
社会資源は乏しく、この会に参加するたびに全国の皆さんの熱意と
行動力、行政のかかわりなど驚きとため息ばかりでした。
そして患者さん(利用者さん)とその家族がケアの中心という考え方と
その実践を教えてくださいましたのもこの会でした。

釧路も今では様々な職種の支援者が広く活躍するようになって
大きく変わりました。福祉・介護・医療そして経済も含めて毎日の
暮らしにくさを改善してくれる支援者の働きと、様々な種類の高齢者向け
住宅の整備によって家での暮らし方には多くの選択肢が用意されました。

まだ介護保険制度も無い頃、町医者として往診し、入院中はしょんぼりしていたお年寄りが退院して
家に帰ると、威厳をもって堂々と、そして家族と楽しそうに暮らす姿を目の当たりにして往診を積極的に
始めました。そして今治りきらない病気や障害を負いながらも自宅で自分らしく暮らしたい方や、
寝たきりや認知症の家族を自宅で介護しているお家で診療を行っています。

在宅診療では病気を早く見つけたり、重い病気を治す事は下手ですが、その方が望む住まいで
その方の望む暮らしを続ける医療的支援が得意です。

特に病気の終末期には体のつらさや不自由さ、暮らしにくさが人生を楽しむ心をくじきます。

病気の終末期というのは生命の末期(看取り期)とは異なります。

病気を治す治療が尽き、病気の進行をできるだけ抑え、自分で感じる症状や暮らしにくさを軽くする事が
治療目的となる時期のことです。

私たち支心のスタッフは本人とご家族の不安や苦痛を和らげ、疑問に答え、どんな暮らしをしたいのかを
考えるお手伝いをし、最期の時までその希望を叶えるケアを目指しています。

しかし、時どき「いつでも、何でも、最後まで俺が」という昔風の町医者根性が頭をもたげ、一人で勝手に
走り回り、多くの方に迷惑をかけてしまう癖があるので注意しています。

具体的に在宅診療が得意な場面を考えると認知症の周辺症状(昔は問題行動といいました)

でお困りの方や、急病だけど救急車を呼ぶほどでもないし、だからといって病院に行けない時、
家族が異常を感じ、受診が必要と思っているのに本人が拒否しているとき

介護を受たいけれど、通院していない為に認定に必要な主治医意見書を書いて貰えない時
自宅で最後を過ごしたい方などの支援が在宅診療の得意なところでしょう。

365日24時間の往診ができる体制を義務付けられている在宅療養支援診療所の役割といえます。

当院では前医からの紹介を前提として訪問診療を行ってきましたが9月から上記のような患者さんには
紹介状がなくても往診を行っています。(ただし現時点では平日の日中のみの対応になります)

もし、お困りの患者さん、ご家族様がおられましたらご紹介下さい。
できる限り診療に伺います。



産まれて間もない佐々木英斗くん。
出産の為退職した佐々木麻記子
CWの長男さん。「子宝ふわり」と
言われる程、おめでた続きのふわ
りです。先生も思わずホッコリ。



🍊🍊🍊 第7回 支心祭り開催御礼 🍊🍊🍊

9月12日、今年も無事に支心祭りを終了することが出来ました。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。前日は台風で荒れ模様だった為「きっと明日も天気悪いね～」などと話しておりましたら、朝起きてビックリ！！太陽が出ているじゃありませんか！！…しかし会場となる中庭に大きな水溜まりが出来ている状態。急遽中庭にトラック1台分の砂を入れての強行開催となりました。スタッフによる露店や谷藤先生のお母様、弘子様お手製のローストビーフとサングリア、ひかり自立支援センター様の物販等々…沢山のご馳走を食べた後は、秋の大運動会を行い、パン食い競争や借り物競走で大笑い！！楽しい時間を過ごす事ができました。また、多くのご家族様ボランティア様にご協力頂き、懐かしい再会も果たせてスタッフもとても喜んでおりました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、来年も皆で楽しく過ごせるよう力を合わせて頑張ります！！



<スタッフ紹介>

ふわり訪問看護ステーションの太田好美看護師に登場頂きました。太田看護師は看護教員の資格やアロマテラピーの各種資格をお持ちなんですよ～。さまざまな症状に効果のあるアロマの使い方やマッサージのツボなんかも詳しいですから、ご興味のある方は質問をしてみても如何でしょうか？

●●●太田看護師からのメッセージ●●●

看護師の太田です。訪問看護の移動中、紅葉している木を眺め深まる秋を感じている今日この頃です。8年前から続けているフラダンスの発表会を10月末に控え今はとても忙しい毎日を送っています。フラダンスはゆったりとした踊りですが、常に膝を曲げたままで踊っているので見た目よりハードなんです。でもハワイの音楽に合わせて踊っているとついか楽しい気持ちになり疲れが吹き飛びます。皆さん、一緒にフラを踊りませんか？



✿ ありがとうございます ✿

左の写真をご覧下さいませ。この写真に写りきれないくらい沢山の作品を 曳田きみ子様よりいただきました。小銭入れ、巾着、名刺入れ、ポーチ、ティッシュケース すべてハンドメイドなので同じ作品はひとつもありません。曳田様はH25年10月より訪問診療開始となり、訪問看護でもご自宅へ伺っておりました。在宅で点滴を行っておりましたが娘さんの献身的な介護で穏やかな日々を過ごされておりました。この夏頃より徐々に体力の低下みられ、平成27年9月10日にご家族様に見守られて永眠されました。その日はご主人の月命日だったそうです。曳田さん、きっとご主人と再会できましたね。曳田さん。たくさんの思い出をありがとうございました。



<編集後記>

寒くなって来ましたね。ストーブのお世話になる事も増えた今日この頃ですが、皆様お変わりありませんか？先月末は風邪をひかれる方が多く見受けられ、熱や咳で大変そうな様子でした。…加湿やマスクで風邪の対策を行う事も必要ですが、風邪の菌に触れても発症しない身体の免疫作りも大切ななあ～と思います。生活リズムを整える事、栄養のある食事を摂ること、適度な運動を行うこと、身体と同じく心にも栄養と休息を与えること。日々の暮らしで出来る事、沢山ありますね。ただ、人間ですから風邪をひく時はひきますね。そんな時は休暇を貰ったと思ってしっかり休む事も大切だと思います。 東